

2014年度 お仕事支援部の活動報告

2014年度のお仕事支援部の活動について、2013年度と比較しながら報告します。2014年度も引き続き、大阪市から地域密着型就労自立支援事業（以下「地域密着」という。）を受託し、原則として55歳未満の日雇労働者に対し、講習及び訓練事業を実施しました。

1. 実績概要(2014年4月1日～2015年3月31日)							
	2014年度			2013年度			対前年比
	全体	内地域密着		全体	内地域密着		全体
新規登録人数	154名	23名 15%		168名	37名 22%		-14名
新規登録者平均年齢	44.2歳	46.6歳		45.0歳	47.0歳		-0.8歳
相談件数	934件	283件 30%		621件	193件 31%		313件
相談実人数	545名	34名 6%		436名	47名 11%		109名
常用就職実績	33名	15名 45%		46名	18名 39%		-13名
常用就職者平均年齢	46.6歳	47.7歳		46.0歳	46.9歳		0.6歳

上の表は、2014年度のお仕事支援部の実績概要です。2014年度の全体の数字が左側の太字の数字で、その右側の数字は、地域密着に参加された46名（内新規登録者23名）の実績と割合です。新規登録人数は154名で、前年の168名より14名の減少。内地域密着が23名（15%）でした。地域密着の新規登録人数が14名の減少となり、全体でも同数の減少となっています。相談件数は934件で、前年より313件増加しています。2014年度より、簡易な相談、就職活動用の自転車貸出、パソコン検索等の件数もカウントしたためです。内地域密着参加者の相談件数が283件（30%）でした。常用就職は33名で、前年より13名の減少。内地域密着は15名（45%、内2013年度参加者3名）でした。

右の表は、地域密着の実績と就職実績以外の支援内容の一覧です。より安定した住居を確保し、その住居での住民票の設定や、携帯電話の取得、銀行口座の取得、及び就職活動能力の養成等、土台を固めつつ、基礎的な力がつくようなサポートを心掛けています。たとえ就職につながらなくても、自力での就職活動が可能になるし、就職活動へのモチベーションも上がると考えているためです。目に見える実績だけではなく、利用者が今後生きていくために必要な、人間力を高めるようなサポートが必要だと考えています。

2014年度 地域密着の実績及び主な支援状況		
項目	実績	備考
参加人数	46名	自転車11名、ビルクリ16名、園芸19名
平均年齢(新規登録者)	47歳	自転車45歳、ビルクリ48歳、園芸48歳
私的理由退職者	22名	自転車8名、ビルクリ7名、園芸7名
住居確保者	11名	事業参加者全員が、野宿及びシェルター利用等から移行。内アパート入居者が4名、簡宿利用で住所設定をした方が7名。
延べ常用就職件数(2名が複数実績有)	12件	清掃5名、製造派遣2名、警備2名、運送1名、資源ゴミ仕分け1名、駐輪場管理1名
実常用就職者	9名	
就労体験実参加者	5名	事業終了後の公園等就労体験での継続支援人数
生保移行者	2名	内生保申請支援1名(療育手帳B1取得者)
住民票設定支援	9名	内5名が常用就職
携帯電話取得支援	3名	内3名が常用就職
銀行口座取得支援	2名	
生活支援(金銭及び服薬管理等)	7名	金銭管理7名
障がい者手帳等取得支援	2名	療育手帳B1が1名、療育手帳B2が1名
資格取得・技能講習参加者	2名	フォークリフト技能講習、ビルクリーニング・マンション管理員養成講習各1名
国民年金免除申請支援	1名	療育手帳B2取得者

2. 2014年度の状況と2015年度の取り組み

大阪の有効求人倍率は、2014年4月の1.09倍から2015年3月の1.14倍と、年間を通して改善しており、就職活動をするには、良い状況と言えます。特に、介護関連や警備関連においては、求人を出しても、なかなか人が集まらないという声を聞きますし、大阪ホームレス就業支援センターや当所にも、少ないですが求人があります。

2014年度のお仕事支援部全体の常用就職者の職種別の主な実績では、清掃関連が10名（30%、内5名が地域密着参加者）、製造関連が9名（27%、内6名は当所からの紹

介)、警備関連が4名(12%)、介護関連が2名(6%)の順となっています。当所の利用者が、介護関連や警備関連に目を向けることができれば、もう少し実績は上がるのではと考えますが、介護関連はマッチングしづらく、警備関連は保証人等がネックとなり、紹介しづらい職種となっています。

2014年度の相談者の特徴として、アルコールやギャンブル依存、障がい、ひきこもり等の自立困難要因を複数かかえている人が増えているように感じます。地域密着の参加者にも、長期のひきこもり経験者2名と障がい者2名の参加がありました。参加人数が少なかったため、粘り強く関係を作ることができ、内3名は常用就職し、障がい者(B1取得)の1名については、相談支援部と連携しながら、生活保護を受給し、現在はNPOの内職作業に従事しています。

2015年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、ホームレス関連の支援状況は厳しくなっています。地域密着事業についても、大幅な予算減少となりました。関係機関に協力をいただき、なんとかスタートできましたが、現在3名の参加となっています。

2015年度は、お仕事支援部の事業を進めていくうえで、十分な支援がしづらい状況となっていますが、企業努力を進め、関係機関等とも連携しながら、実のある支援を心がけていきたいと考えています。

3. 地域密着型就労自立支援事業の取組み

社会人基礎講習



交通安全講習



登校見守活動



駅前植栽維持管理



自転車リサイクル講習・訓練



地域内小学校自転車リサイクル作業体験



ビルクリーニング講習



ビルクリーニング訓練



園芸作業講習



園芸作業訓練

